

福岡大学建築展2013

2013年4月26日(金)-28日(日)10:00~17:00 @アクロス福岡

シンポジウムテーマ:「建築をひらく、まちを育む。」

シンポジウム日時: 2013年4月27日(土)13:00~16:30 会場:アクロス福岡 7F大会議室

パネリスト

西田 司 (建築家/オンデザイン)
吉村 靖孝 (建築家/吉村靖孝建築設計事務所/明治大学特任教授)
井手健一郎 (建築家/リズムデザイン一級建築士事務所/福岡大学非常勤講師)
池添 昌幸 (福岡大学工学部建築学科准教授)

コーディネーター
定員
申込方法
問い合わせ・申込先

200名(無料・申込先着順)
氏名・所属・連絡先TEL・連絡先E-Mailを明記の上、E-MailもしくはFAXにてお申込ください。
福岡大学工学部建築学科
E-Mail: tasympo@fukuoka-u.ac.jp FAX: 092-865-6031 HP: <http://www.tec.fukuoka-u.ac.jp/arch>

<主催> 福岡大学工学部建築学科

<後援> 福岡大学 福岡大学工学部 福岡県 福岡市 福岡県教育委員会 福岡市教育委員会
日本建築学会九州支部 福岡県建築士事務所協会 日本建築構造技術者協会九州支部

福岡大学建築展 2013 シンポジウム

「建築をひらく、まちを育む。」

●主 旨

人々が旅行で観光地を訪れる時、観光スポットは寺社や教会といった伝統的な建築物であり、魅力的な雰囲気をもつ街並みである。また、芸術作品を鑑賞するために訪れる美術館が旅の印象に残ることも少なくない。建築はまちの資産であり、独自の都市文化を形成する源であると同時に、市民の原風景となりうるものである。

一方、自分が住んでいるまちの建築に対する関心は決して高くなく、日常化している建築の歴史や価値を深く知ろうとする意識は小さい。例えば、伝統ある建築物が壊される時、その建築の価値が市民に再認識されたとしても時既に遅しとなってしまふ。建築にとって大切なことの一つは、人々に愛着を持って利用され、時間の積み重ねの中で文化的な価値を備えてまちや都市に根付くことである。その意味で建築の専門家は、新たな建築を造るだけでなく、今ある建築の価値を市民に伝えたり、長く使い続けるために建築を再生したりすることも重要な役割となっている。

今回のシンポジウムでは、建築を市民に開き、そして建築の歴史を拓くことで都市やまちの価値を高めていく、そのような活動に取り組んでいる建築家の方々を招き、建築と人々、建築とまちの新たな関係性について考えてみたい。

●日 時 2013年4月27日(土) 13時00分～16時30分

●会 場 アクロス福岡 大会議室(福岡市中央区天神 1-1-1)

●定 員 200名(申込先着順)

●参加費 無料

●パネリスト

西田 司/建築家/オンデザイン

吉村 靖孝/建築家/吉村靖孝建築設計事務所/明治大学特任教授

井手健一郎/建築家/リズムデザイン一級建築士事務所/福岡大学非常勤講師

●コーディネーター

池添 昌幸/福岡大学工学部建築学科准教授

●プログラム(予定)

13:00～13:05 開会・実行委員長挨拶

13:05～13:50 西田司氏講演

13:50～14:35 吉村靖孝氏講演

休憩

14:45～15:15 井手健一郎氏講演

15:15～16:15 座談会

16:15～16:30 まとめ・閉会

●懇親会 17:00～18:30

●申込方法・問い合わせ先

氏名、所属、連絡先 TEL、連絡先 E-Mail を明記の上、E-Mail もしくは FAX にてお申込ください。申込書は、福岡大学工学部建築学科ホームページでダウンロードできます。

福岡大学工学部建築学科 野中徳子 / TEL: 092-871-6631 (内線 6533)

E-Mail: tasympo@fukuoka-u.ac.jp / FAX: 092-865-6031 (事務室)

福岡大学工学部建築学科 HP <http://www.tec.fukuoka-u.ac.jp/arch/>